

## 甲賀の國づくりプロジェクト — 甲賀流まち・ひと・しごと創生戦略（骨子）草案 —

### 1. 基本理念

人が集まってきて、若者が留まり、子どもがたくさん産み育てやすく、健康でいきいきと暮らせる。このような完璧なまちを実現し、人口を増加させることができれば他に望むものはないのでしょうか。どれだけ人口が増えても、貧困に苦しむ人や様々な不安を抱える人、不幸な人が多ければ意味がないのではないのでしょうか。

私達が最も重要だと考えたのは、このまちで暮らす人々が安心して、快適で、豊かに暮らし、毎日の何気ない生活のなかで「幸せ」を感じることです。

長期的に考えれば、このような市民満足度と幸福度が高いまちに人が集まり、このようなまちから人が離れないはずです。

つまり、人口減少の究極の対策は、市民誰もが日常の生活のなかで幸せを感じることができる、すなわち「生活感幸」のまちづくりであると考え、内発的・自律的・持続的な地域社会を目指してこの戦略を定めます。

### 2. 策定の経緯と考え方

持続可能な自治体経営において、最大の課題となる将来の急激な人口減少問題に対し、集中的な施策を展開するため、本市は「甲賀の國づくりプロジェクト会議」を設置し、これまで多面的・複合的な施策の検討を進めてきました。

策定にあたっては、人口減少という不可避の課題に果敢に立ち向かい、域内経済の循環により持続可能性を高めるとともに、より「甲賀らしさ」を追求することで、次世代（※1）が暮らす「元気なこうか」を考え方の基本とし、今後5年間の基本目標と施策の方向性をまとめています。

本戦略は、国・県の地方創生の動きを注視しながらも、地方分権の理念のもと、それらに左右されることなく、市民や議会、産学官金などの各関係団体との連携により、地域の実情、課題を反映した「甲賀らしい」戦略とします。

※次世代：ほぼ1世代に相当する25年、すなわち四半世紀先の2040年を展望する。

### 3. 構成

本戦略は、人口の現状を分析し、人口に関する市民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する「人口ビジョン編」と、地域の実情を踏まえながら、基本目標の達成に向けて、基本的方向と具体的な施策、重要業績評価（KPI）をまとめた「総合戦略編」で構成します。

#### **4. 期間**

- 平成27年度(2015年度)から平成31年度(2019年度)の5年間とします。
- 平成29年4月より開始する(仮称)第2次甲賀市総合計画に合わせて、必要に応じて本戦略を見直します。

#### **5. 策定・推進体制等**

##### **(1)各関係団体、有識者等の意見**

学識経験者や各界の代表者等で構成する甲賀市総合計画審議会において、総合戦略の策定、推進について意見をいただくとともに、産官学を始めた各分野の現場で活躍されている有識者からの意見を集約して施策を推進する。

##### **(2)必要な調査の実施**

地域経済に係わる様々なビッグデータ(企業間取引、人の流れ、人口動態等)を収集し、地域の経済実態や産業構造を分析し、柔軟に見直しをかけます。

##### **(3)県・市町人口問題研究会**

「県・市町人口問題研究会」において、地域の実情、課題の情報共有を図るとともに、人口減少問題に対する政策等を研究し、国、県の動きと連動します。

#### **6. 基本目標**

- 基本目標1 選ばれる「まち」をめざす**
- 基本目標2 ふるさと愛を最大化し、みんなで「ひと」を育てる**
- 基本目標3 地域内経済を高め、「しごと」をつくる**
- 基本目標4 甲賀らしく、持続可能性を追求する**

## 7. 基本的方向

### 基本目標 1 選ばれる「まち」をめざす

-新しいひとの流れをつくる-

- (1) 人口減少問題を地域と共有し、UIJ ターンを推進する。
- (2) 若者が地域に“留まる”または“帰ってくる”ための支援を行う。
- (3) 通勤、通学しやすい環境を整える。
- (4) 観光資源の独自性の発揮と一体的な情報発信を行う。
- (5) 企業から選ばれるまちとして、新たな企業誘致施策を進める。

### 基本目標 2 ふるさと愛を最大化し、みんなで「ひと」を育てる

-若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる-

結婚・出産・子育てについてはひとそれぞれに希望があり、子どもを産む・産まない、何人産むかは女性と夫婦に選択権があります。これらの選択肢を充実し、希望をかなえ、それぞれの幸福を感じる社会を創造します。

また、地域への愛を育むことで、人口減少の原因である若者の地域外への転出を減らし、進学や就職を機に転出した市民の UIJ ターンを促します。

- (1) 子育てしながら働きやすい家庭・地域・職場環境を整える。
- (2) 若者の結婚の希望を叶える。
- (3) コミュニティのなかで「縁」を深め、様々な協働作業を通じて、「ひと」と「ひと」の出会いを創出する。
- (4) 女性が希望する職種を掘り起こす。
- (5) 「生き方」の多様な選択肢を広げ、「多様さ」を活かす。
- (6) 今住んでいる市民が「地域を愛し、自慢する」ことで幸せを感じる、「ふるさと教育」を推進する。
- (7) 男女の妊娠・出産に関する正しい知識を普及し、自らライフプランを立てるような支援を行う。
- (8) 子どもを連れている家族に優しい目を注ぎ、地域で子どもを育てる。
- (9) 企業による子育て、若者への支援を促進します。

### 基本目標3 地域内経済を高め、「しごと」をつくる

-しごとをつくり、安心して働けるようにする-

地元出身の若者が地域に残ることができる、一旦都市に出て行っても地域に戻り、自分の能力を活かした仕事ができる、暮らしていける、そんな「しごと」の選択肢を拡げます。

また、一次産業と女性やITやクリエイティブ産業を結びつけるなど、生活圏のなかで経済を廻し、生産と消費を近づけることで人のいきがいを生み、働くモチベーションを高めます。

- (1) 女性が活躍できる地域、職場をつくる。
- (2) 市内企業や地場産業の魅力を伝えるとともに、若者が希望する「しごと」を創設する。
- (3) 市民が市内で就業し、安心して働ける環境を整備する。
- (4) 自給自足、地産地消を進め、地域で経済が廻る仕組みを創る。
- (5) 小さな経済、小さな産業、小さな起業を支援し、多様な職種を生み出す。
- (6) 農村の価値を再認識し、新たなライフスタイル、ビジネスモデルの提案の場となる。
- (7) ビジネスが継続する、新しいビジネスが起こる。
- (8) 雇用・所得が安定し、地域にお金が廻る。
- (9) 個性的な研究開発、ビジネス化支援

### 基本目標4 甲賀らしく、持続可能性を追求する

-時代に合った地域をつくり、安心して暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する-

- (1) 高齢者の健康寿命を延ばすとともに、高齢者を貴重な“人財”として職場・地域で活躍していただく。
- (2) 縮小時代の行財政運営にシフトする。
- (3) 地域内の「ひと・もの・かね」を外部に流出させない経済循環の仕組みを創ります。
- (4) 多様性を最大の特徴とした地域づくり
- (5) 全国一律のコンパクトシティではなく、魅力ある地域同士をネットワークでつなぐ、甲賀市版コンパクトビレッジ（小さな拠点）の推進
- (6) 人生の質や生活の質、時間の質を大切にしたワークライフバランスを創造します。